

つくばみらい市環境基本計画（案）に対する意見の内容および市の考え方

意見提出期間	平成29年1月11日（水）～平成29年2月9日（木）		
意見提出者数	5人	意見件数	40件

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
1	全体の構成	「3. 目標の設定」を改め「3. 市の目指す環境像」（26頁全体）をトップに移してください。その後に、「1. 計画の基本的事項. 「4. 2計画の取組体制等」を付してください。次に、「4. 1. 計画の実行に向けた方針と施策」, 最後に付録として「2. 市内の現況と課題」を付します。	1	本計画の導入部では、計画はなぜ必要とされ、その内容はどうか等べきなのか等の基本的事項に触れています。次に本市の現況と課題を把握した上で目指す将来像を定め、各主体が実施すべき具体的な施策、取組体制という順で構成していますので、原案どおりとします。
2	全体	市民一人ひとり「新計画での活動」として何を行えば良いのでしょうか？	1	市民が主体となり、自主的かつ積極的に行うべき事項は「市民の取組」として、各施策ごとに位置付けています。
3	全体	当計画は市民全員に配布するものですから、「3. 3計画の市民目標」を追加。	1	本計画の基本目標は、市民、事業者、市の三者が参画・協働し、目指すべきものとしています。基本目標に向け、それぞれのテーマで方針を示し、三者それぞれの取組を27頁以降で具体的に示しており、市民の行動目標は「市民の取組」としていますので、原案のとおりとします。 また、計画の冊子を全戸配布することは予定していませんが、ホームページや広報紙等を活用し、広く市民に周知を行いたいと考えております。
4	全体	『「わたし」又は「地区」は何をすること』を表示し、環境保全活動を誘導・喚起下さい。	1	本計画は、市全体の基本的な環境施策を示しております。地域ごとの取組は、各地域の実情に合わせ、「市民の取組」が連携、発展した形で実施されるべきと考えます。
5	全体	策定作業中の「総合計画」にも環境計画が入るが、この計画との関係は？ また、重複の心配があり、市民にどう説明するのか？	1	現在策定中の総合計画は、市の最上位計画であり、本計画は個別計画という位置付けです。本計画での方針、施策等は体系的に反映されることとなります。 総合計画と本計画の方向性が大きく乖離する場合は、整合が図られるべきと考えます。

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
6	全体	総合計画の見直し作業が行われている。総合計画の見直しを受けて、環境基本計画も見直し予定か？	1	本計画での方針、施策等は体系的に総合計画に反映されることとなります。 総合計画と本計画の方向性が大きく乖離する場合は、整合が図られるべきと考えます。
7	1頁	1.1計画策定の背景を次のように、簡潔な表現にしてください。 主旨は①この計画で環境施策を展開する②現計画期間の終了に伴い条件変化を加味し見直し改訂する③市として自然環境を維持し、生活利便との調和を図るため行政、市民、事業者が協力して保全に取り組むことを取り決める。	1	ご指摘の内容を含め明文化されておりますので、原案のとおりとします。
8	1頁	1.2計画の目的を次のように、文言を見直し下さい。 「計画」は環境の保全と回復に向けて、個別施策を総合的かつ計画的に推進することを明確にし、市民、事業者、行政の各主体が共通の認識を持ち、自主的・積極的に取り組み「市の目指す環境」を実現する。	1	ご意見を踏まえて、次のとおり一部修正します。 【原文】 「計画」は、・・・自主的、積極的に取り組むことによって理想的な環境像を実現することを目的とします。 【修正後】 「計画」は、・・・自主的、積極的に取り組むことによって市の目指す環境像を実現することを目的とします。
9	1頁	1.3計画の位置付け、図の矢印を次のように見直し下さい。 環境基本法→茨城県条例→つくばみらい市環境保全条例→つくばみらい市環境基本計画となるのでは。	1	市を中心に関係法令、他計画の関連を図示していますので、原案のとおりとします。
10	2頁	1.5計画期間・目標年度を次のように、文言を区切って下さい。 計画期間は平成29年度（2017年度）から10ヵ年とし、目標年度を平成38年度（2026年度）とします。 ただし、社会的・経済的状況の変化や達成状況に応じて、適宜必要な見直し（ローリング）を行うものとします。	1	ご意見を踏まえて、次のとおり修正します。 【原文】 計画の期間は、・・・平成38年度（2026年度）を目標年度としますが、社会的・経済的状況の・・・行うものとします。 【修正後】 計画の期間は、・・・平成38年度（2026年度）を目標年度とします。ただし、社会的・経済的状況の・・・行うものとします。

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
11	11～12頁	2.2.2自然環境の課題 保護策（を優先し）と（制限付き）活用を明確にし、現状の評価を記して下さい。 （例：活用には条件を記して下さい） 「活用」は人口定着率アップに寄与できる資源なので、それを十分に考慮下さい。	1	保護すべき自然環境の現状を踏まえ、人がどのように関われば環境が活かされ、また、保全されるのかにまで踏み込み、課題を整理することで、取り組むべき施策が明確になると考えますので、原案のとおりとします。
12	17頁	2.2.4生活環境の課題→次に分類し、取組分担（行政、市民、事業者）の明確化と喚起を。 ①ゴミの減量化、②ゴミ処理の簡素化、③ゴミ等の資源化←（該当*事業者） ④ゴミ出しルール違反←市民・事業者 ⑤不法投棄←行政を中心に全市民（の監視） ⑥景観の維持、⑦文化財・歴史的資源←市民と事業者	1	ご意見の内容は、①～④は33～34頁、⑤は35頁、⑥、⑦は40頁に各主体が具体的に取り組むべき方針と施策を明示していますので、原案のとおりとします。 なお、本計画の趣旨について、市民、事業者に理解を得られるよう、周知を図っていきます。
13	22頁 25頁	2.2.6安全・公害に関する課題、2.2.8地球環境に関する課題 →課題は、全市民に広報誌、HP、くらしのガイドで知らせているが周知していないこと。 周知と喚起させるため、月1度、（土）or（日）に「防災放送」することを追加下さい。	1	市の取組状況はホームページ等で順次お知らせしていきますので、原案のとおりとします。 防災行政無線の使用については、市で防災行政無線の運用規定を定めているため、ご提案の内容での防災放送は難しいです。
14	27～44頁	4.1計画の実施に向けた方針と施策 →2.2環境の現況と課題とこの項の項目を一致させて下さい。 「課題」と「計画施策」の対応関係を明確にして下さい。	1	課題は「3つの基本目標」と目標達成のための「参画と協働」において施策を行うとしています。分類が変わっていますが、課題と計画施策の対応は図られていると考えますので、原案のとおりとします。
15	27頁	市の取組 ◎自然環境の保全を推進します。 ◎里山を保全し活用を推進します。 ◎農地を保全し活用を推進します。 に、学校教育の中で市の施策の体験、学習を積極的に行うこと。	1	4.1.4参画と協働 2) 環境教育の推進（43頁）で「環境学習や体験学習の場や機会の充実に努めます。」と記載しているため、原案のとおりとします。
16	27頁	生き物達と人の共生では、ペットはどのように位置づけますか？総合計画53頁の動物愛護及び管理に関する法律に基づき環境づくりを推進するとありますが、施策として加えないでいいのか？	1	本計画においては、自然界に生息する動物を対象としているため、原案のとおりとします。 ペットの飼育マナーについて啓発を行っていきます。

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
17	27頁	間伐材の有効利用を推進します。とあるが具体的な施策があった方がいい。間伐材のチップ化や落ち葉を利用した堆肥作り等、具体的にして下さい。	1	ご意見を踏まえて、次のとおり修正します。 【原文】 ・間伐材の有効利用を推進します。 【修正後】 ・間伐材の有効利用として、チップ化や落ち葉を利用した堆肥作り等を推進します。
18	29頁	緑の基本計画の検討を入れて下さい。	1	「緑の基本計画」は都市における緑化の推進等に関する計画ですが、現在本市の公園、緑地等の整備方針は、都市計画マスタープランにて定め、本計画の「市の取組」においても位置付けておりますので、原案のとおりとします。
19	29～44頁	市の取組と指標の目標値の根拠を示す。	1	指標の根拠としては、実績値から将来値を推測した上で、目標として目指すべき数値を設定しております。本計画では、施策の方向性を示すことが主な役割であり、目標値の根拠の表示については、計画になじまないと考えます。
20	29～44頁	市の取組に対する「指標」の表示はあるが、市民、事業者の「取組と指標」も含めたい。その場合、方法等は各市民団体、事業者に委ねる（行政の負担に成らない様に）。	1	市の指標の中には、市民、事業者の取組状況を把握することも含まれています。また、市民、事業者の取組は、自主的、積極的に行われるものと考えますので、目標指標を定めず、原案のとおりとします。
21	33頁	生ごみ堆肥化事業への協力を施策として加えて下さい。	1	ご意見を踏まえて、次の内容を追加します。 1) ごみ減量化・再資源化 (2) 施策 市の取組 ◎一般廃棄物処理基本計画を推進します。 ・生ごみ堆肥化事業への参加促進を図ります。
22	33頁	「循環型社会の形成に地域資源の活用」を追加	2	地域エネルギーによる地域循環については、本地域に見合った地域資源や地域住民の理解等、課題もあるため、学識経験者を含めた環境保全審議会等からご意見をいただく等、調査、研究を行って参りますので、原案のとおりとします。

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
23	34頁	市の取組に「学校教育の中で循環型社会について、具体的な体験、学習する機会を増やし、循環型社会への理解を深める」を追加。	1	4.1.4参画と協働 2) 環境教育の推進(43頁)で「環境学習や体験学習の場や機会の充実に努めます。」と記載しているため、原案のとおりとします。
24	36頁	市の取組で「公共施設への節水型設備や雨水利用等の導入を促進します」の中で、公共施設だけでなく「一般住宅」についても導入を推進すると、追加すること。	1	雨水利用につきましては、今後、有効な事業手法の調査や国の定める雨水の利用の推進に関する基本方針や県の方針等を踏まえながら、施策についての調査、研究を行って参りたいと考えております。一般住宅における雨水利用の導入の推進につきましても、その調査、研究の中で併せて行う予定ですので、原案のとおりとします。
25	36頁	市の取組で「新エネルギー等の普及と導入を促進するための調査研究をします」とあるが、「調査研究し、推進するための施策を提案します」を追加すること。	1	新エネルギーの促進を図っていくための個別事業については、市が先進事例等を参考に調査研究を行って参りますので、原案のとおりとします。
26	36頁	「新エネルギー等の普及と導入を促進するための調査研究をします」、「いばらき水素戦略」導入とありますが、どのように行う予定ですか。	1	温暖化対策としての蓄電池技術、茨城県が推進する「いばらき水素戦略」等、今後普及が見込まれる技術に注目をして参りたいと考えています。 なお、本市は「いばらき水素利用促進協議会」に会員登録をしております、今後研修会等を通じて積極的な情報収集を行い、本地域の実情に合った新エネルギーのあり方について、調査研究をして参りたいと考えています。
27	36頁	本市には農研機構の田・畑圃場とFACEがあるので、そことのコラボを考えたらどうか。	1	市内には国の研究機関である中央農業総合研究センターの田畑の圃場、FACE実験施設という他の地域にはない研究機関があります。地域に即した具体的な施策を展開する上で、連携が図れる場合はご協力をお願いすることも検討したいと考えております。貴重なご意見として参考にさせていただきます。
28	36頁	身近な浅層地中熱の利用の研究をしてみたいか。	1	地中熱の地域的な適正等、課題があると考えますので、新エネルギーに関する貴重なご意見として参考にさせていただきます、調査研究を図って参ります。

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
29	36頁	省エネルギー&地域エネルギービジョンの策定を検討するを加えて下さい。	1	新エネルギー等の普及導入については、個別計画を策定していませんが、低炭素社会へ推進する個別施策として位置付けています。個別計画については、今後、市民の方々や環境保全審議会からの意見等も参考にしながら、策定に係る調査研究を行って参りますので、原案のとおりとします。
30	36頁	戸別の太陽光発電導入への補助を加えて下さい。	1	太陽光を含めた個別の補助制度の創設については、「(仮)環境推進庁内会議」及び「環境保全審議会」で検討をしていきたいと考えておりますので、原案のとおりとします。
31	38頁	ノーカーデイをイベント的につくってください。 コミュニティーバスの利用促進を加えて下さい。	1	ご意見を踏まえて、次の内容を追加します。  【36頁】 市の取組 ◎低炭素社会への・・・。 ・自動車運行による二酸化炭素排出量の削減のため、 <u>ノーカーデー</u> を設け、公共交通機関の利用促進や自動車通勤における相乗りの励行を図ります。  【38頁】 3) 地球規模の環境対策 (2) 施策 市の取組 ◎各種公害の未然・・・。 ・自動車運行による排気ガスの低減のため、 <u>ノーカーデー</u> を設け、公共交通機関の利用促進や自動車通勤における相乗りの励行を図ります。
32	40頁	市民の取組で、「子どもと共に・・・」とありますが、子どもも市民なのでいかがなものか。	1	ご意見を踏まえて、次のとおり修正します。  【原文】 ・子どもと共に地域の自然、歴史に親しみ、環境に配慮した行動を伝えます。  【修正後】 ・地域の自然、歴史に親しみ、環境に配慮した行動を心がけ、後世に伝えていきます。

No.	意見項目	意見の内容	件数	市の考え方
33	41頁	洪水対策の観点から、低平水田地帯で湛水被害が懸念される ところでは、「田んぼダム」に関する検討をしてみたいか が。	1	本市には広範囲に低平水田地帯が広がっておりますので、今後の施 策を検討する上での貴重なご意見として参考にさせていただきます 。
34	42頁	環境シンポジウムの年1回の開催を加えて下さい。	1	本計画において、市民や事業者との協働は欠かせません。他の自治 体における、市民や事業者からなる部会等の活動状況を参考に、本 市においても自主的な活動を行う組織の醸成を図っていくため、シ ンポジウムの開催までは必要がないと考えますので、原案のとおり とします。
35	45頁	計画の進行管理の方法としてPDCAサイクルを用いている が、PDMを作るべきと考えるが。	1	本計画においては、PDCAサイクルによる進行管理を実施するこ ととしております。ご提案のありましたPDMにつきましては、今 後の進行管理を充実させる手段として参考にさせていただきます。
36	45頁	4.2計画の取組体制等について、市民、事業者等の参加、協 力、提案、環境保全活動の実践を行うとしているが、より多 くの提案、実践を展開できるよう、多くの市民が参加できる 「審議会」の他に「市民会議」等の設置を追加すること。	2	「環境保全審議会」は、公募等で選ばれました市民や事業者に入っ ていただき、市民目線・事業者目線からご意見をいただきながら、 ご審議いただく予定ですので、原案のとおりとします。
37	自然歴史 学習公園	先人の偉業をコンパクトに学習できる場として整備すれば効 果的である。	1	今後の施策を推進する上での貴重なご意見として参考にさせていた だきます。
38	整備が必要 となる項目	遊歩道、自転車道、福岡堰公園でのカヌー場、小貝川土手の 菜の花畑、福岡堰・稲豊橋・岡堰付近での水上バイクや水遊 び施設の整備、広域にホタルが生息する環境整備、冬季の水 田への水張り等を実施し、学習の場として活用する。	1	今後の施策を推進する上での貴重なご意見として参考にさせていた だきます。